

畜産飼料評価のためのフィードサンプラー活用

広島県、(独)農業・食品技術総合研究機構中央農業総合研究センターおよび(株)藤原製作所で共同開発した『フィードサンプラー』の使い方はつぎのとおりです。

フィードサンプラーの種類

飼料イネやトウモロコシなど、地域で生産される畜産飼料(自給粗飼料)はロールペールで貯蔵されます。

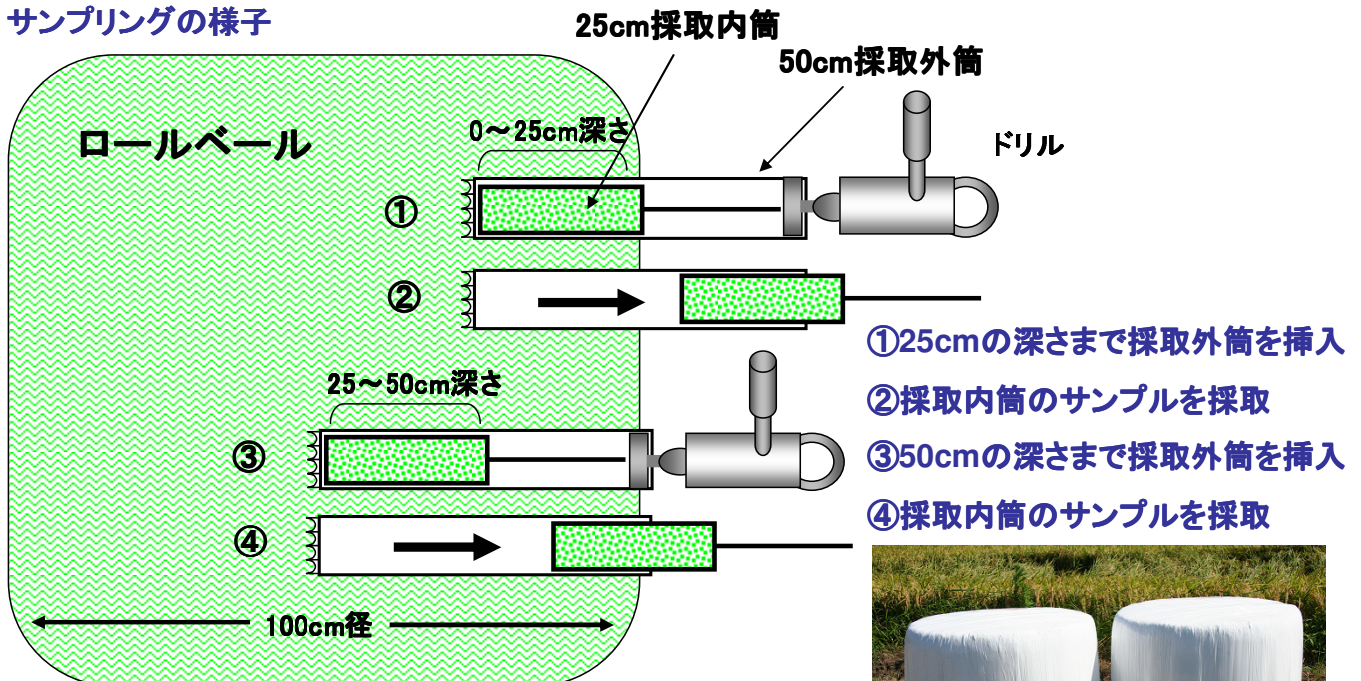
機器開発した当時は、ロールペールの直径は80~85cm程度が一般的でしたが、現在では直径100~120cmと大型化しています。

そのため、標準タイプの25cm長のフィードサンプラーと、大型化したロールペールに対応できる50cm長の2種類のフィードサンプラーを用意しています。



フィードサンプラーの使用法の実際

50cm採取外筒と25cm採取内筒を用いた100cm径のロールペールの中心部までのサンプリングの様子



※ 採取外筒の挿入深さと採取内筒の長さを変えることで層別の調査が可能

